

「第1回舞鶴市みらい戦略推進会議」が 開催されました

7月21日（火）、舞鶴市商工観光センターコンベンションホールにおいて、「舞鶴市みらい戦略推進会議」が開催され、当所から廣瀬会頭が出席しました。

この会議は、地域が一丸となって、舞鶴の魅力を最大限に活かし、定住人口の減少抑制、交流人口の拡大を図り、人口10万人に匹敵する経済規模を維持し、未来に向け、活力ある地域を創造していくことを目的に創設されたもので、産官学に加え金融・労働・言論界などの各界各層から50団体が参加され発足しました。

多々見市長は「地方創生は、皆さんが主役です。20年、30年後の舞鶴を考えながら地域が一丸となって取り組みましょう」と呼びかけられ、舞鶴市の現状と魅力、本年5月に全国に先駆け策定された「舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について市長自身で説明されました。

市長の呼びかけに応え、廣瀬会頭から「中小企業が元気になることで舞鶴全体を活性化したいと考えている。（中略）市民が一丸となって、私たちのまちが持っている優れた地域資源や地域特性を最大限に発揮することで、必ずや地方創生は成る。まさに今年の舞鶴商工会議所の活動スローガンである『さあ、“オール舞鶴”で前進です！』と、参加者を代表して力強く決意を述べました。

今後とも、当所は、地域を牽引する総合経済団体として、舞鶴市をはじめ、関係機関との連携強化を図り、共に智慧と汗を絞って、舞鶴版・地方創生の推進に積極的に支援、協力して参ります。



市長の説明にうなづく代表者たち

【舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子】

政策目標

『交流人口300万人・経済人口10万人』都市・舞鶴

目標実現に向けた4つの政策の柱

◇しごとをつくり、安心して働けるようにする

- ・日本海側拠点港「京都舞鶴港」を活かした産業の振興
- ・「赤れんが」「海・港」を核とした観光産業の振興によるビジネス創出と観光消費の拡大
- ・歴史・文化都市創造への取り組み
- ・ものづくりをはじめとする商工業の振興による経済規模の拡大
- ・ブランド力の高い農林水産業の振興による経済規模の拡大

◇新しい人の流れをつくる

- ・高齢者と若者のクロスシフトによる移住・定住の促進
- ・高校・高等教育期の人材育成を支える環境づくり
- ・求人・求職ニーズに応じた雇用の確保・安定と働きやすい環境づくり

◇若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- ・夢に向かい、力づく社会を生き抜く力を育む質の高い教育環境づくり

◇時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

- ・定住環境向上への取り組み
- ・都会並みの質の高い地域医療の確保とスマートウェルネスシティの形成
- ・自助・共助による地域コミュニティづくり
- ・危機対応力の強化と強い都市基盤づくり
- ・環境都市創造への取り組み
- ・広域都市連携による特色あるまちづくり